

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和04年01月07日

計画の名称	総合的な水環境向上のための基盤整備対策の推進（第 期）												
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	松山市												
計画の目標	現在、松山市では『安全で快適な暮らしを守り、美しい環境を未来へつなぐ下水道』という視点から、快適な暮らしづくり、安全なまちづくり、美しい環境づくり、健全で持続可能な下水道の4つの基本方針に基づいて、市民が快適な生活環境と快適な水環境を享受できる基盤整備を行い、地球にやさしく、災害に強い地域の形成を目指しています。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	457	A	457	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R4末)
1	高度処理施設能力割合の向上 高度処理施設能力割合の向上 = 水処理施設の総処理能力のうち、高度処理施設の能力の割合	10%	15%	15%
2	下水熱導入可能性の検討実施 下水熱ポテンシャルマップを活用した導入可能性の検討実施件数	0件	件	1件

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	松山市	直接	松山市	終末処理場	新設	水質保全下水道事業	高度処理化(処理場)	松山市						434	-	
	A07-002	下水道	一般	松山市	直接	松山市	-	-	下水道リノベーション推進総合事業	下水道リノベーション計画策定(下水熱)	松山市						23	-	
											小計						457		
											合計						457		

社会資本整備総合交付金の執行状況

【2章】総合的な水環境向上のための基盤整備対策の推進（第II期）

（単位：百万円）

	H30	H31	R2	R3	R4
配分額 (a)	137	102	0	0	6
計画別流用増減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	137	102	0	0	6
前年度からの繰越額 (d)	0	76	0	0	0
支払済額 (e)	61	178	0	0	6
翌年度繰越額 (f)	76	0	0	0	0
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	0
不用額 (h=c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率 + 不用率 (i=(g+h)/(c+d)) %	0	0	0	0	0
未契約繰越率 + 不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

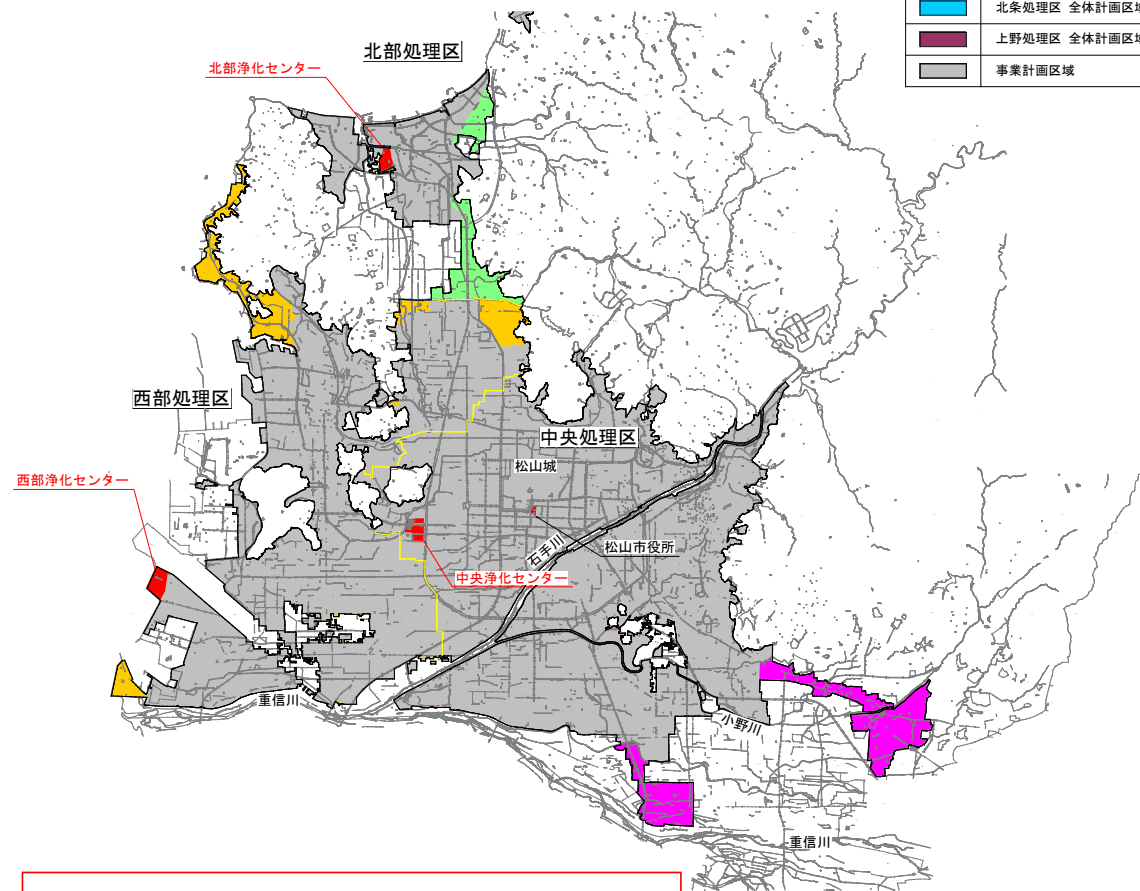
計画の名称： 総合的な水環境向上のための基盤整備対策の推進（第 期）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 計画の目標が都道府県構想などの基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 4つの点検の実施結果を反映している。	○
I. 目標の妥当性 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。（公衆衛生・生活環境の向上改善、公共用水域の水質保全）	○
I. 目標の妥当性 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業内容は、計画の目標を達成するうえで適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の実施に当たり、他事業等との連携が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	○
II. 計画の効果・効率性 地域の実情に応じた整備手法の住み分けが実施されている。	○
III. 計画の実現可能性 計画に記載された事業に対して住民等の理解が得られている。	○
III. 計画の実現可能性 長期的な事業継続に対する見通しを立てている。	○
III. 計画の実現可能性 計画期間中の計画管理（モニタリング）体制が適切である。	○

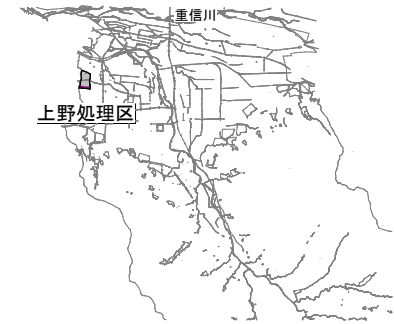
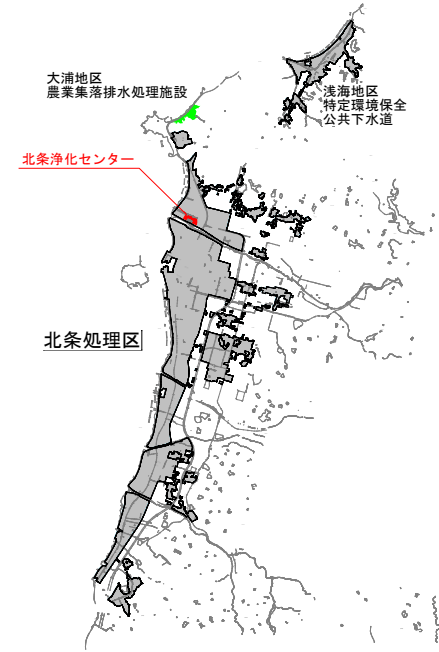
公共下水道計画図



凡 例	
	中央処理区 全体計画区域
	西部処理区 全体計画区域
	北部処理区 全体計画区域
	北条処理区 全体計画区域
	上野処理区 全体計画区域
	事業計画区域







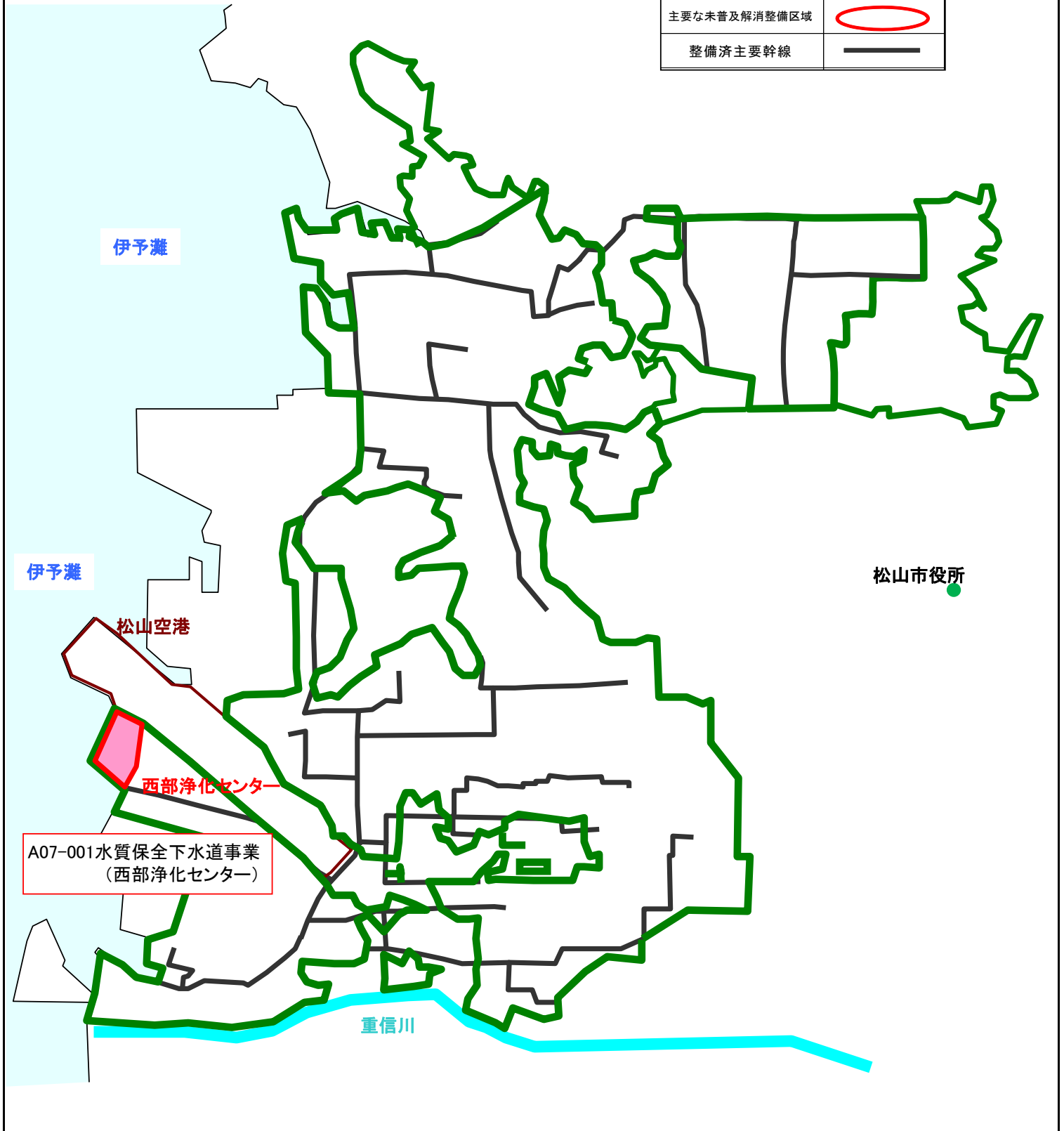
A07-002下水道リノベーション推進総合事業 (中央処理区)



計画の名称	2 総合的な水環境向上のための基盤整備対策の推進 [第Ⅱ期]		
計画の期間	平成30年度 ~ 令和4年度 (5年間)	交付対象	松山市

西部処理区

凡	例
下水道事業計画区域	
下水浄化センター	
主要な未普及解消整備区域	
整備済主要幹線	



伊予灘

伊予灘

松山空港

松山市役所

西部浄化センター

A07-001水質保全下水道事業
(西部浄化センター)

重信川